

現業評議会ニュース VOL.34

省庁要請行動 必要な予算措置にむけ 現場の実態や課題を省庁に訴える

現業評議会は11月20日に国土交通省、21日に厚生労働省をはじめ、環境省や文部科学省、4月に設置されたこども家庭庁に対し、要請行動を実施していく。この取り組みは、現場の実態や課題について各学会で議論したうえで、各省庁に対し現場実態に応じた次年度の予算措置を求めるために行っている。

環境省では、①大規模災害の発生時において、迅速な復旧・復興にむけ、指示命令システムの整備や自治体への予算措置、②プラスチック廃棄物の回収体制構築に係る費用の全額について国が補助すること、文部科学省に対し給食現場では、①調理室の新設や施設の拡充および改修・整備にかかる交付金の予算措置、用務員現場では、①特別教育の受講に係る費用については国庫負担、国土交通省では、①道路法第42条を踏まえた必要な予算措置、厚生労働省では、①高齢者の「食べる」を支える予算を確保、②全ての医療従事者の労働安全衛生の確保、こども家庭庁では、①「保育体制強化事業」の保育に係る周辺業務に調理補助業務を加え、現場の体制強化をはかること、などの項目について要請行動を行っていく予定。

要請行動の議事録については、12月9日から10日に開催される第2回全国幹事会で報告していく。

岸まきこ組織内議員との意見交換

自治労は機関紙新年号において、岸まきこ組織内議員に全国各地の給食を食べてもらい、給食の必要性や重要性、また給食現場の課題や調理員の思いについて話し合う内容を予定している。佐賀県基山町をはじめ、全国で3カ所を予定している。

ぜひ、1月の新年号を読んでください。



給食を食べながら地産地消や給食への思いについて、ざくばらんに岸議員と意見交換する基山町の調理員。

写真左の給食メニューは、給食からご当地フードとなった鶏のレモン煮。

仕事に密着、「ありたっけの現場力」動画を作成

現業評議会では、学校給食調理員と学校用務員の業務を知ってもらうため、ドキュメンタリー動画を作成した。どのような業務を担い、また「どんな想いを持って仕事に関わっているのか」を1人の現業職員に密着したドキュメンタリー動画。多くの人たちに私たちの業務を知ってもらうため、YouTubeの一般公開としてアップしています。各単組、各県本部でも活用と周知をよろしくお願いいたします。



学校給食調理員



学校用務員

現業評議会ニュース VOL.34-1

現場 現業職場の必要性を住民にアピール 各県本部で工夫した取り組みを展開

現業職場の課題を解決していくには、要求書を提出し、交渉を積みかさねていくことが重要である。その交渉の後押しとなるのは、現業職場に対する住民からの理解や支持であり、住民に現業職場の業務内容を知ってもらうことも、重要な取り組みである。

本部現業評議会では、住民アピール行動として7月に愛知県で開催した現業政策集会の前段で現業フェアを開催した。各県本部・各単組でもこうした取り組みが行われ、また今後、予定をしている。全国の取り組み事例を共有し、各地で取り組みを展開していこう。



(写真上・下) 新潟県本部の取り組み



岡山県本部では、廃校の校庭を借りて岡現フェスを実施した。住民に現業職員の業務内容を知ってもらうため、パッカー車を使用しての清掃の啓発活動、学校給食の試食、学校用務員による工作をはじめ、さまざまブースを出展し、多くの住民が参加した。



新潟県本部では、現業・公企統一闘争決起集会終了後に、参加者が駅前前で住民アピール行動を行った。

マイクで現場の重要性を呼びかけるとともに、参加者はプラカードを持って、通行人に訴えた。

今後も各地で住民アピール行動が開催

神奈川県本部現業評議会や松本市現業では11月に住民アピール行動としてイベントを企画。気になった方は、参加、または本部までお問い合わせをお願いします。

松本市：現業お仕事フェア

日時：11月25日（土）10時～14時
場所：松本市「あずさ会館」・「あずさ運動公園」

「まちで働くみんなの味方 ～自治体現業ふれあい祭り～ in さがみはら」

日時：11月18日（土）10時～14時
場所：相模原市「橋本公園」

写真は前回開催の様子

